

企画県土警察常任委員会資料

(平成22年11月26日)

【その他報告事項】

- 1 第8回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）について
【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 鳥取県とロシア連邦ハバロフスク地方との友好交流に関する共同声明について
【交流推進課】 . . . 3ページ
- 3 映画「恋谷橋」鳥取県内ロケの開始について
【中部総合事務所県民局】 . . . 5ページ

文化観光局

第8回鳥取県ジュニア美術展覧会（ジュニア県展）について

平成22年11月26日
文化政策課

1 事業の目的

鳥取県の児童・生徒等の創作作品を発表する場を提供し、出展機会を拡大することで、芸術文化活動への意欲を高め、県内の青少年の美術活動の助長と振興を図ることを目的とする。

2 第8回ジュニア県展開催にあたっての昨年との見直し内容

(1) 入賞の充実

第7回までは、中学生の入賞数は学年を分けず全学年一括で行っていたが、作品の完成度等から高学年に受賞が偏る傾向にあるため、今回から各学年ごとに入賞を区分するとともに数も拡充した。

【前回まで】

部門	区分	計	知事賞	教育長賞	奨励賞
各部門	中学校	14	1	3	10
	合計	14	1	3	10



【今回】

部門	区分	計	知事賞	教育長賞	奨励賞
各部門	中学1年	7	1	2	4
	中学2年	7	1	2	4
	中学3年	7	1	2	4
合計		21	3	6	12

(2) 特別賞の新設

知事賞の中でも、将来性がある魅力的な作品に「特別賞」を贈る制度を今回から新設した。
(各部門の知事賞受賞作品の中から、学年を問わず1作品ずつを選出。)

3 今年度の出品状況及び審査結果等について

各部門ともに出品数が増加し、昨年に比べ全体で1,000点以上の増加となるなど、子どもたちの文化芸術活動のすそ野の拡大につなげることができた。

(1) 審査結果及び入選総数

<審査会実施日 10月26日(火)>

部門	区分	入選総数	内 訳			
			知事賞 (うち特別賞)	教育長賞	奨励賞	入 選
絵画・ デザイン	小学校	619	3	9	24	583
	中学校	89	3(1)	6	12	68
書 写	小学校	327	3	9	24	291
	中学校	94	3(1)	6	12	73
写 真	小学校	47	3	5	6	33
	中学校	175	3(1)	6	12	154
計		1,351	18(3)	41	90	1,202

(2) 出品状況

部 門		出 品 数	参 考 (昨年度)
絵画・ デザイン	小学校	2,472	1,828
	中学校	352	387
書 写	小学校	1,245	1,061
	中学校	353	304
写 真	小学校	186	120
	中学校	690	539
合 計		5,298	4,239

4 表彰式

日 時：平成22年12月4日(土) 10:00～

場 所：倉吉博物館

5 展示会場及び会期

(入場料：無料)

区 分	会 場	会 期
本展示	倉吉博物館 (倉吉市仲ノ町)	平成22年12月4日(土)～12月12日(日)
巡回展 (西部地区)	県立武道館 (米子市両三柳)	平成23年1月8日(土)～1月16日(日)
巡回展 (東部地区)	県立博物館 (鳥取市東町)	平成23年1月22日(土)～1月30日(日)

※ 入賞作品はすべての会場で、入選作品は本展示と出品された地区の巡回展で展示。

鳥取県とロシア連邦ハバロフスク地方との友好交流に関する共同声明について

平成22年11月26日
交流推進課

11月15日(月)から17日(火)までの日程で、シュポルト・ヴァチエスラフ・ロシア連邦ハバロフスク地方知事が鳥取県を訪問したところ結果は下記のとおりです。

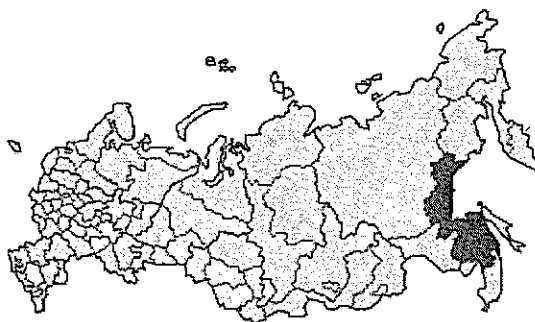
記

- 1 訪問先 境港(国際フェリーターミナル、昭和南コンテナターミナル、FAZ倉庫、夢みなとタワー)、カニ加工会社、氷温研究所、鳥取大学医学部附属病院
鳥取県産業技術センター
- 2 二地域間会談及び署名式
 - ・平井知事より、ハバロフスク地方は、極東地域の政治の中心地であり、鉄道及び道路をはじめとするあらゆる輸送網の結節点であり、経済、医療及び青少年交流など、幅広い分野において両地域が交流できる可能性がある旨述べた。また、本年12月にハバロフスク市内のホテルにて開催される商談会に富有柿などを出品する予定であり、その機会を捉えて、鳥取県代表団をハバロフスクに派遣する旨述べた。
 - ・シュポルト知事より、鳥取県の御招待に感謝申し上げる、鳥取県の滞在は有意義なものであり、状況をよくつかむことができた。ハバロフスク地方にも港が2つあり、港湾分野及び水産加工分野においても協力できる可能性がある旨述べた。また、特に鳥取大学医学部附属病院の訪問は印象深く、ハバロフスクにもPETセンター設立する予定であることから、人材育成を含め意見交換を行っていききたい旨述べた。
 - ・二地域間会談終了後、別添の共同声明に両知事が署名した。

【参考】ハバロフスク地方の概要

ロシア極東地域における政治・経済の中心地。

沿海地方のウラジオストク市からハバロフスク市まで約800キロあり、シベリア鉄道及び道路にて結ばれている。



- (1) 人口：約140.1万人(2009年1月1日現在)
- (2) 面積：約78万平方キロメートル(日本の約2倍)
- (3) 位置：東はオホーツク海に面しており、川や湖の多い山がちな領土。南部で約900キロメートルにわたり中国(黒竜江省)と国境を接している。
- (4) 気候：典型的な大陸性気候であり、平均気温は1月で-21.8℃、7月で20.2℃。

日本国鳥取県とロシア連邦ハバロフスク地方との友好交流に関する共同声明

日本国鳥取県知事 平井伸治、ロシア連邦ハバロフスク地方知事 シュポルト・ヴァチェスラフ・イヴァノビッチ は、友好的な雰囲気の中で実施された会談において、日本国鳥取県とロシア連邦ハバロフスク地方（以下、双方）の友好・協力関係を発展させていくことを目的として、以下の事項について意見の一致をみた。

1. 双方は日本及びロシア連邦の法律に従って協力していく。
2. 双方は、経済、貿易、観光、文化、スポーツ、青少年政策に関する協力を発展させ具体的な交流関係の確立に向けて、関連情報の共有及び交換を実施する。
3. 双方は、境港（日本）、東海（韓国江原道）、ウラジオストク（ロシア連邦）間を運航する環日本海定期貨客船、港湾施設及びシベリア鉄道など、地域における海上・鉄道輸送インフラという物流ネットワークの発展が、両地域間の貿易拡大にとって意義のあるものであることを認め、双方間の物流ネットワークの確立に向けて努力していく。
4. 本共同声明を、日本語及びロシア語で作成し、それぞれの地域において1通ずつ保管するものとする。

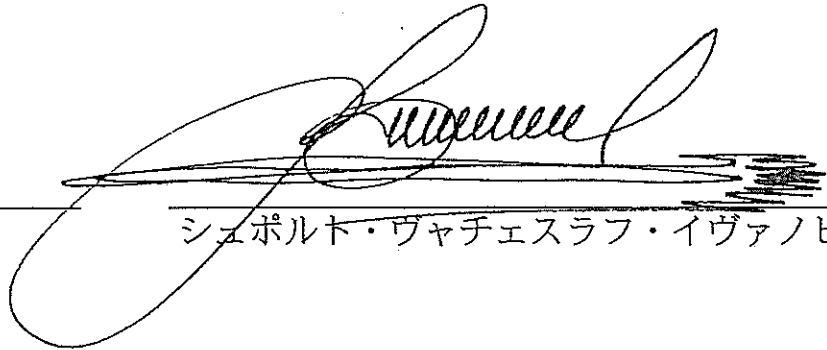
2010年11月17日

日本国鳥取県知事

ロシア連邦ハバロフスク地方知事

平井伸治

平井 伸治



シュポルト・ヴァチェスラフ・イヴァノビッチ

映画「恋谷橋」鳥取県内ロケの開始について

平成22年11月26日
中部総合事務所県民局

三朝温泉を舞台の中心として製作される映画「恋谷橋」の撮影が、11月20日（土）から開始されました。

1 県内ロケの概要

- (1) 撮影期間 11月20日（土）～12月10日（金）
- (2) 主な撮影場所 三朝温泉街、倉吉白壁土蔵群周辺

2 映画の概要

(1) 主な出演者

上原多香子（SPEEDのメンバー）、吉行和子、松方弘樹、中澤裕子（元モーニング娘）ほか

(2) シナリオ

かつての面影もないほど寂れた和風温泉旅館街と、それを思い悩む地元の若者を中心に知恵を出し合い、まちおこしを通じて温泉街の復興に取り組んでいく。

(3) ロケ誘致の経緯

・平成20年12月

第1回スーパーシナリオグランプリ受賞作品「雨の中の初恋」の映画ロケ地に三朝温泉が立候補し、38温泉地の中からロケ地として選ばれる。

・平成21年2月

地元では、NPO法人みささ温泉を中心に「映画『雨の中の初恋』製作を応援する会」（後日、「映画『恋谷橋』を成功させる会」へ改称）を立ち上げ、映画製作の支援体制を整える。

・平成22年11月

昨年の計画発表以来、資金などの調整がつかず延期されていた映画撮影が、当初のシナリオを大幅に修正し、『恋谷橋』（仮題）として11月20日から開始。

(4) 映画公開時期 平成23年7月頃

3 県の支援

(1) 今年度の支援（21年度からの繰越事業）

- ① 地元の映画製作支援団体である「映画『恋谷橋』を成功させる会」が行うロケ地マップの作成等への支援。
- ② 首都圏上映館での鳥取県観光・物産PRを委託 ※不執行

(2) 来年度の事業展開

- ・撮影時期が遅くなった等のため、(1) ②の事業は実施できない。
- ・よって、来年度の事業については、三朝町、映画「恋谷橋」を成功させる会等の地元と相談、協議しながら、あらためて検討する。